

【災害に応じた対応を理解する】

## 【風水害等編】台風について

台風が日本に近づく場合は、気象庁から進路や風速、被害の想定などが事前に発信されます。そのため、早い段階で災害に備えることが可能な災害です。早めの情報収集で事前にしっかりと対策を立てましょう。

### ●台風とは

台風は、北西太平洋または南シナ海にあり、かつ低気圧域内の最大風速が一定以上のものをいいます。台風は海面が暖かい南の海で発達し、上空の風等によって移動します。

#### ■台風の大きさと強さ

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、風速(10分間平均)をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。

「大きさ」は強風域(風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の半径です。「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速25m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

#### ■風の強さと吹き方

平均風速(m/s) おおよその時速	風の強さ (予報用語)	人への影響	走行中の車	台風で吹く風
10~15 ~約50km/h	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	強風域
15~20 ~約70km/h	強い風	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	強風域
20~25 ~約90km/h	非常に強い風	何かにつかまつて立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	通常の速度で運転するのが困難になる。	暴風域
25~30 ~約110km/h		屋外での行動は極めて危険	走行中のトラックが横転する。	暴風域
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h				
40~ 約140km/h~	猛烈な風			

出典:雨と風(気象庁リーフレット) 風速はまわりの地形や建物などに影響されるので、場所によって変わります。上表の状況は、おおよその目安です。

気象庁は、台風やこれから台風に発達すると予想される熱帯低気圧について、5日先までの予想進路や強度を台風情報として発表します。台風が接近しているときは、気象庁の情報を確認し、避難のタイミングを検討しましょう。

### ●台風に備えて家の点検をしよう

天候が穏やかなうちに災害に備えて準備をしておきましょう。

#### 屋根

瓦のひび・ずれなどはないか。トタンのめくれ・はがれはないか。

#### ベランダ

鉢植えや物干し竿など飛散の危険性が高いものは室内へ。

#### 雨どい・雨戸

雨どいに落ち葉や土砂が詰まっているか。継ぎ目のはずれや塗装のはがれ、腐りはないか。雨戸にガタツキやゆるみはないか。

#### 外壁

外壁に亀裂はないか。板壁の場合、腐りや浮きはないか。プロパンガスのボンベは固定されているか。

#### 窓ガラス

ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。外側から板などでふさぐ。

#### ブロック塀

ひび割れや破損箇所はないか。

#### 側溝

目詰まりしていないか。雨水が速やかに排出されるか。

【災害に応じた対応を理解する】

## 【火災編】火災について



火事を見つけたら、はじめの対応が重要です。まず周囲の人々に火事を知らせ、119番通報します。その後に「消火」にかかりますが、初期消火で消し止められないときは、すぐに避難しましょう。

### ●火災発生時の行動3原則

#### 1.知らせる!

- 「火事だー!」と大声で叫んで隣近所に援助を求める。
- どんな小さな火災でも必ず119番通報する。



#### 2.初期消火

- 出火直後なら初期消火が可能。落ち着いて、素早く対応する。
- 消火器や水だけでなく、座布団で火をたたく、ぬらしたシーツで火を覆うなど、手近なものを利用する。

### ●消火器の使い方



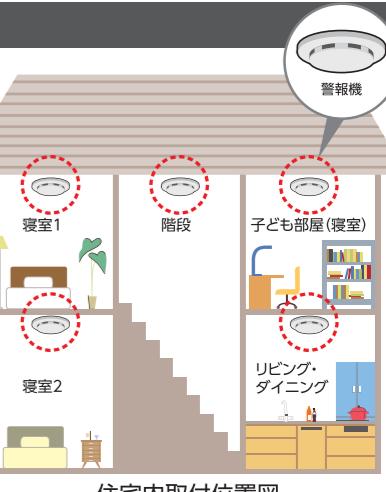
### ●住宅用火災警報器

火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう

#### 火災警報器の設置場所

- 寝室…すべての寝室(子供部屋や高齢者の居室など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所…台所への設置もおすすめします。

住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感じなくなることがあります。  
10年たったら交換をおすすめします



### 篠栗町消防団が活躍中

消防団は、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動・救助活動を行います。「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、篠栗町では約260人の団員が活動しています。



#### ○平常時の活動

- ・消火訓練、防災訓練
- 火災を想定した放水訓練や災害時の対応研修などを定期的に実施
- ・防火、防災啓発や研修
- 防火の啓発活動をはじめ、地域や学校での応急処置や防災研修を実施
- ・水利や器具の点検
- 非常時に利用できるよう地域内の施設を点検します。

#### ○災害時の活動

- ・消火活動
- 火災時には、消防団が消火活動及び後方支援活動を行います。
- ・捜索、救助活動
- 大規模災害発生時には、捜索・救助活動や避難誘導などを実施

### ◆消防団に入団を希望する方は

#### 対象

18歳~45歳で、町内在住または、町内勤務の男女

※詳細は以下まで、気軽に問い合わせください。

#### ①地域の消防団

②役場総務課 消防防災係(092-947-1113)まで